



大西公園 (三千本の桜)

120種類約3000本の桜が咲く大西公園は南信州を代表する桜の名所です。4月第3土曜日には「桜祭り」が開催されます。4月中旬～下旬までは夜桜も楽しめます。



ブルーベリー狩り

無農薬で育てられたブルーベリーの実は地上1m程の枝に鈴なりに実りますので、小さなお子様にも収穫が楽しめます。収穫期間 7月上旬～7月下旬



大池高原 中村農園の青いケシ

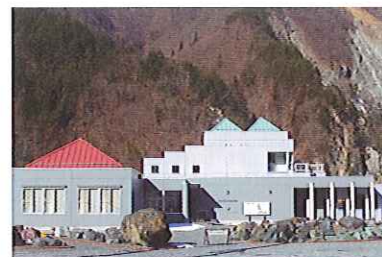
原産地はヒマラヤ等の高山帯で国内での栽培は非常に困難な幻の花。3種類約5000株のケシの花を見ることができます。開花時期 6月上旬～7月上旬



大鹿歌舞伎

大鹿歌舞伎は明和4年に上演された記録が残る地芝居で、国選無形民俗文化財に指定されています。春と秋の定期公演には県内外から多くの見物客が集まります。

【春】5月3日 大徳神社(大河原)
【秋】10月第3日曜日 市場神社(鹿 塩)



中央構造線博物館

村の真ん中を南北に通っている「中央構造線」という大断層の博物館です。館内には断層の露頭の標本や、岩石の大型切断標本、地形地質模型が展示されています。

開館時間 9:30～16:30
休 館 日 月曜日・火曜日(12/28～1/3休館)
4月～11月の祝日は月・火曜日も開館

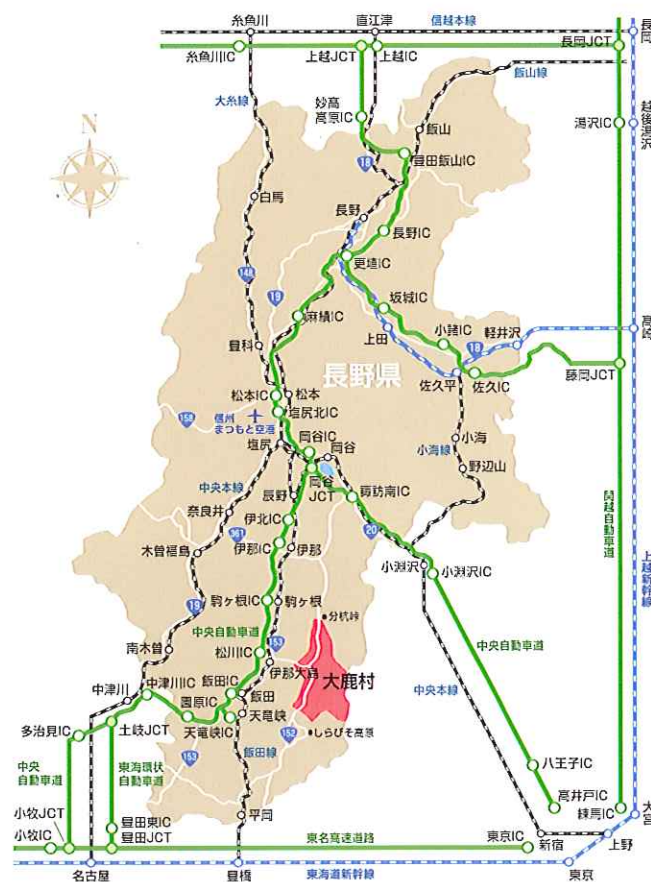


ろくべん館

「ろくべん館」の名は大鹿村に古くから残る重箱「ろくべん」からつけられました。大鹿歌舞伎などの村の歴史と民俗文化を広くご紹介しています。

開館時間 9:30～16:30
休 館 日 月曜日・火曜日
4月～11月の祝祭日は月・火曜日も開館

南信州大鹿村までのアクセス



大鹿村ならではの鹿肉を使ったカレー 大鹿ジビエカレー

大鹿村の食の職人たちが、大鹿村ならではの食材である「鹿肉」と、特産のブルーベリーを使った、風味豊かな欧風タイプのジビエカレーです。

大鹿村ガイドブック 好評発売中!! 信州で2番目に山奥の村 紀行

観光スポットだけでなく、村の歴史や人々の暮らし、道端で見つけた不思議なものなど、通常の観光ガイド本には紹介されない情報がぎっしり。旅人と村人、双方の視点から村のホンネと隠れた魅力を紹介し、より深い「歩き方」を提案するユニークなガイドブックです。

日本で最も美しい村連合

昭和57年にフランスで始まった「フランスで最も美しい村」運動を手本に、平成17年10月、大鹿村を含む7つの村がNPO法人として発足させました。人口が概ね1万人以下であること、2つ以上の地域資源やそれを活かした活動を行っていることなどが条件で、平成23年7月現在で国内39カ所が加盟しています。

お問い合わせ先

大鹿村観光協会

〒399-3502 長野県下伊那郡大鹿村大河原389
TEL.0265-39-2929 FAX.0265-39-2803
E-mail: ooshikakankou@osk.janis.or.jp



映画「大鹿村騒動記」 口ケ地を巡る旅。



娯楽の原点、ここにあり!!
小さな村のハレ舞台。

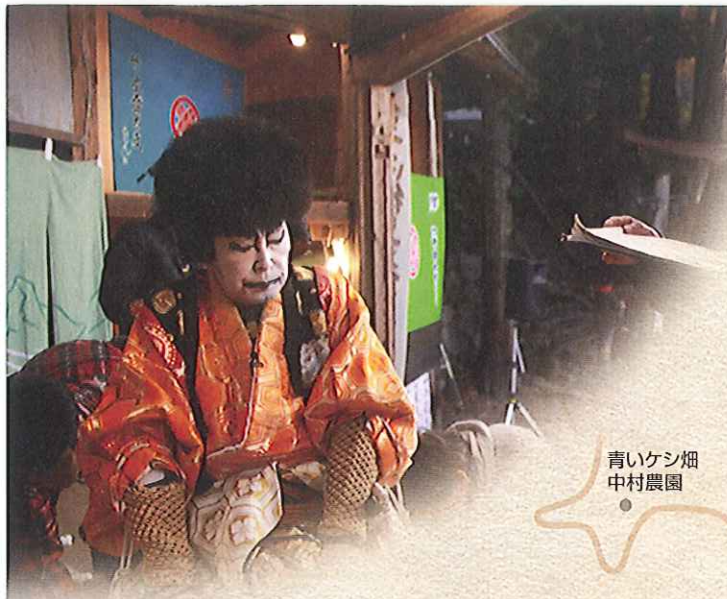
雄大な南アルプスのふもと、長野県大鹿村。美しき山里で「芸能の原点」を守る人々を描いた、ホロ苦くも笑いあふれる

映画の舞台を訪ねてみませんか?



映画人たちを魅了した「あの場所」をたずねて

さりげない路地裏にある「感動」ハレ舞台に立てばだれもが主役



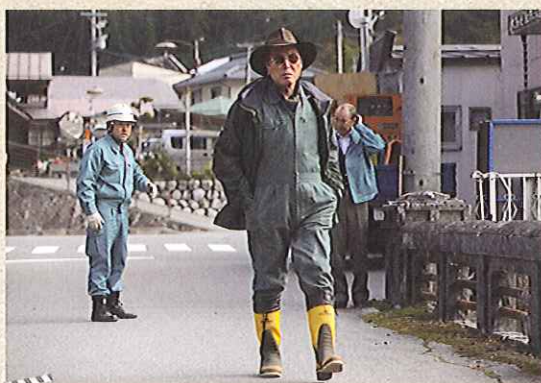
ロケ地1 鹿塩温泉

貴子(大楠道代)と治(岸部一徳)が昔を懐かしみながら浸かる。登場人物たちも首をかしげるほど塩分が強い不思議なお湯が有名。



ロケ地2 鹿塩橋

主人公の善(原田芳雄)と役者仲間の権三(石橋蓮司)が歩く場面を撮影。鹿塩地区中心部、鹿塩川にかかる昔ながらコンクリートの橋。



ロケ地3 大協建設

芝居仲間の権三(石橋蓮司)が営む土木会社という設定。悩みを抱える善(原田)と、リニア駅誘致にこだわる権三との会話が見どころ。

大鹿村騒動ストーリー
雄大な南アルプスの麓にある長野県大鹿村。そこでシカ料理店を営む初老の男・風祭善(原田芳雄)は、30年以上の歴史をもつ村歌舞伎の花形役者だ。だが実生活では女房に逃げられ、あわれ独り身をこたえていた。そんなある日、公演を5日後に控えた折も折、18年前に駆け落ちした妻・貴子(大楠道代)と幼なじみの治(岸部一徳)が帰ってくる。脳筋の疾患で記憶をなくしつつある貴子はいきなり返され、途方に暮れる善。強がりがちな心は千々に乱れ、仲間は治も投げ出してしまふ。仲間や村人たちが固唾を呑んで見守るなか、刻々と近づく公演日。そこに大型台風まで加わって。ハテ300年の伝統は途切れてしまうのか、小さな村を巻き込んだ大騒動の行方はいかに!?



大鹿村騒動記

撮影は大鹿村の全面協力によりオールロケを敢行。作中に登場する歌舞伎の舞台や演出はすべて実在のもので、クライマックスでは村民を中心に850人のエキストラが参加しました。スクリーンに映し出される美しい風景も見どころ。南アルプスの急峻な谷間に位置する大鹿村は、自然の美しさと厳しさをあまのまに見せてくれます。桜やハナモモに彩られた桃源郷の春、生命力に溢れる夏、またしほの秋の紅葉、身も心も引き締まる冬の赤石岳。大鹿村に足を運べば、映画館でも味わえない新たな感動が待っています。

スクリーンを超えた四季の魅力が心のフィルムに焼きつく村
名優 原田芳雄が「どうしてもやっておきたい」と阪本原治監督に談判して誕生した映画「大鹿村騒動記」。舞台となった長野県大鹿村は、日本で最も美しい村連合に加盟する風光明媚な山里です。この地に300年以上も受け継がれてきた大鹿歌舞伎は、地元役者衆と観客とが一体になって楽しむ「芸能の原点」をいまに伝えています。
妻に逃げられながらも村歌舞伎に人生をかける無骨な主人公(原田)。認知症を患い帰郷した妻(大楠道代)は少女のようなあどけなさが印象的。岸部一徳・佐藤浩市・松たか子ら実力派俳優らが個性あふれる村人を演じ、悲喜こももとの群像劇を繰り広げます。



ロケ地6 美濃屋

認知症の貴子(大楠)が「いかの塩辛」を万引きするお店。昭和の香りたてよう菓子屋さんで、84歳のおばあちゃんがいまも店を切り盛りしている。



ロケ地6 小渋橋

台風が吹き荒れる場面に登場。赤石岳を望む絶景にあり、古い連続アーチ型のコンクリート橋は村民によって保存・美化が行われている。



ロケ地4 大碓神社

クライマックスである歌舞伎の舞台。毎年5月3日に大鹿歌舞伎の定期公演が開かれる。



ロケ地8 福德寺

近くの墓地で、村の長老・義一(三國連太郎)が戦争や災害の死者を弔うシーンを撮影。鎌倉時代に建立された県内最古級の木造建築。

ロケ地9 大河原バス停

駆け落ちした貴子(大楠道代)と治(岸部一徳)が18年ぶりに故郷へ降り立つバス停。伊那バス大鹿線の終着点で、赤石岳と大西山の眺めが迫力。

ロケ地7 旧みっちゃん食堂

善(原田)が経営する鹿肉食堂「ディア・イーター」として登場。文房具屋、食堂兼民宿などさまざまな歴史を刻んできた建物。

